

体験！災害ボランティア

～ 緑区災害ボランティアセンター 開設・運営訓練 ～



申込不要！
参加自由！

阪神・淡路大震災が、「ボランティア元年」と言われて、すでに23年が経ちました。大きな災害が起こると多くの災害ボランティアが全国から集まり、家屋の片付けや被災者の心のケア活動などに活躍しています。普段ボランティア活動と関わりの少ない方も全国から支援に駆けつけ被災地で活動している現在、災害ボランティアへの期待と関心は増えています。

もし緑区で地震や水害による大きな被害が発生した時、「災害ボランティアセンターはどこにできるのか？どのような事を依頼できるのか」、「ボランティアする時はどのような手続きをしたらできるのか、どのようにして、活動現場まで行くのか」など一連の流れをご紹介します。

「災害ボランティアってなんだろう？」「どんな人ができるのだろう？」「ボランティアセンターはこういうところなのだろう？」そんな疑問にお答えします！ぜひご参加ください。

日時

- 平成30年5月12日（土）午後1時30分～午後3時30分
※参加の受付は午後2時30分まで

場所

- ユメリア徳重（支所会議室、区民プラザ等）
（名古屋市緑区元徳重一丁目401番地）

内容

- 災害ボランティアセンターとは？
（被災地で活動したボランティアコーディネーターから説明）
- 災害ボランティアセンターの模擬体験
（開設を想定し、「災害ボランティア」として一連の流れを模擬体験）

対象

- 災害ボランティアに関心がある方 **どなたでも参加OK。**

実施機関

- 名古屋みどり災害ボランティアネットワーク
- 緑区役所 ○社会福祉法人名古屋市緑区社会福祉協議会

連絡先

- 緑区社会福祉協議会 電話：891-7638 FAX：891-7640
- 緑区役所区政部総務課 電話：625-3906 FAX：623-8191

災害ボランティアセンターとは…

名古屋市の場合、大規模災害の発生時は必要に応じて名古屋市災害ボランティアセンターを本部として各区に災害ボランティアセンターが設置されます。運営は市や区の社会福祉協議会、市内の災害救援 NPO、災害ボランティア団体などが協力して行います。

被災者の困りごとは家屋の片付けから家具の移動、生活相談までさまざまです。災害ボランティアセンターは、そうした被災者の声を受けとめ、それらを解決するため全国から集まるボランティアを受け入れ、被災者の元へ派遣するつなぎ役です。このセンターを支えるのもまた多くはボランティアで、被災者の要望に応じてボランティアを手配、派遣するという重要な役回りを担います。

名古屋みどり災害ボランティアネットワークとは…

平成 16 年 4 月愛知県・名古屋市の災害ボランティアコーディネーター養成講座修了生が集まってできた団体です。

平成 17 年 7 月名古屋市と「災害時における一般ボランティアの受け入れ活動に関する協定書」を結んでいます。

養成講座修了生か、減災活動に関心がある方、是非仲間になりませんか？

■災害ボランティア活動のあれこれ



詳しくは当日会場で…